

換気方法のポイント

換気の基本は常時換気です。

<換気装置がある避難所>

- 収容人数×30m³/hの風量以上となる台数を運転します。
- 体調不良者（発熱者）等スペースから一般スペースに空気が流れない位置の換気装置を運転します。
- 可能であれば、暖房器から遠い位置の換気装置を運転します（暖房機の近くから排気すると、暖かい空気が室内を暖房する前に屋外に逃げるため）。

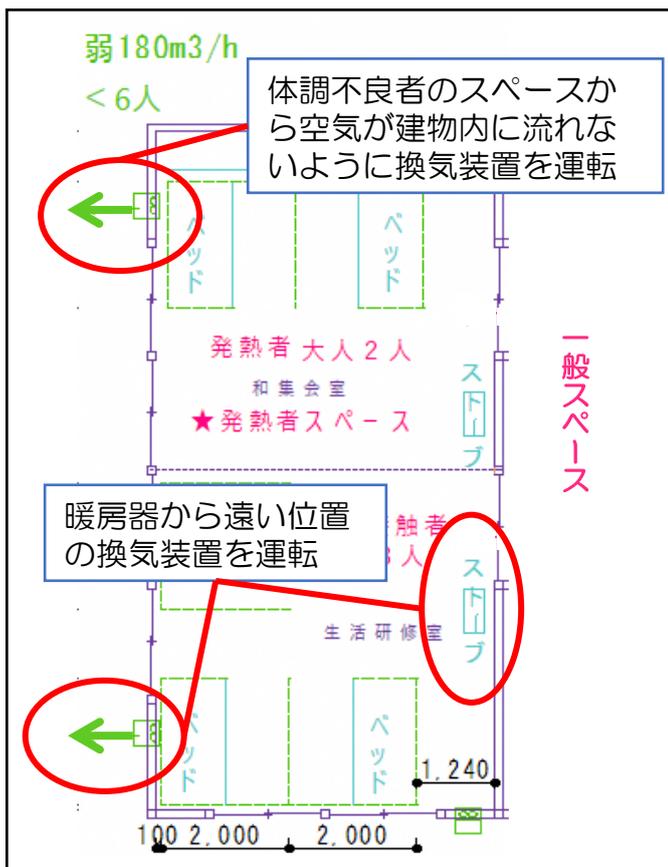
<換気装置がない避難所>

- 2面（二方位）のできる限り対角になる位置の窓等を開けます。
- 1面しか窓等がない部屋は、異なる向きに窓などがある他室を利用し、その間にあるドアやドア上の欄間を開けます。
- 1人当たり、引き違い窓で280cm²×2面、すべり出し窓で480cm²×2面を目安に窓を開け、室温が下がらないように（18℃以上）開け幅を調整します。

※1人当たり換気量を国の専門家会議が指針として示す30m³/hとしています。

（換気装置有り）

空気の流れ向きに配慮



（換気装置無し）

2方向の窓・ドアを開けます

